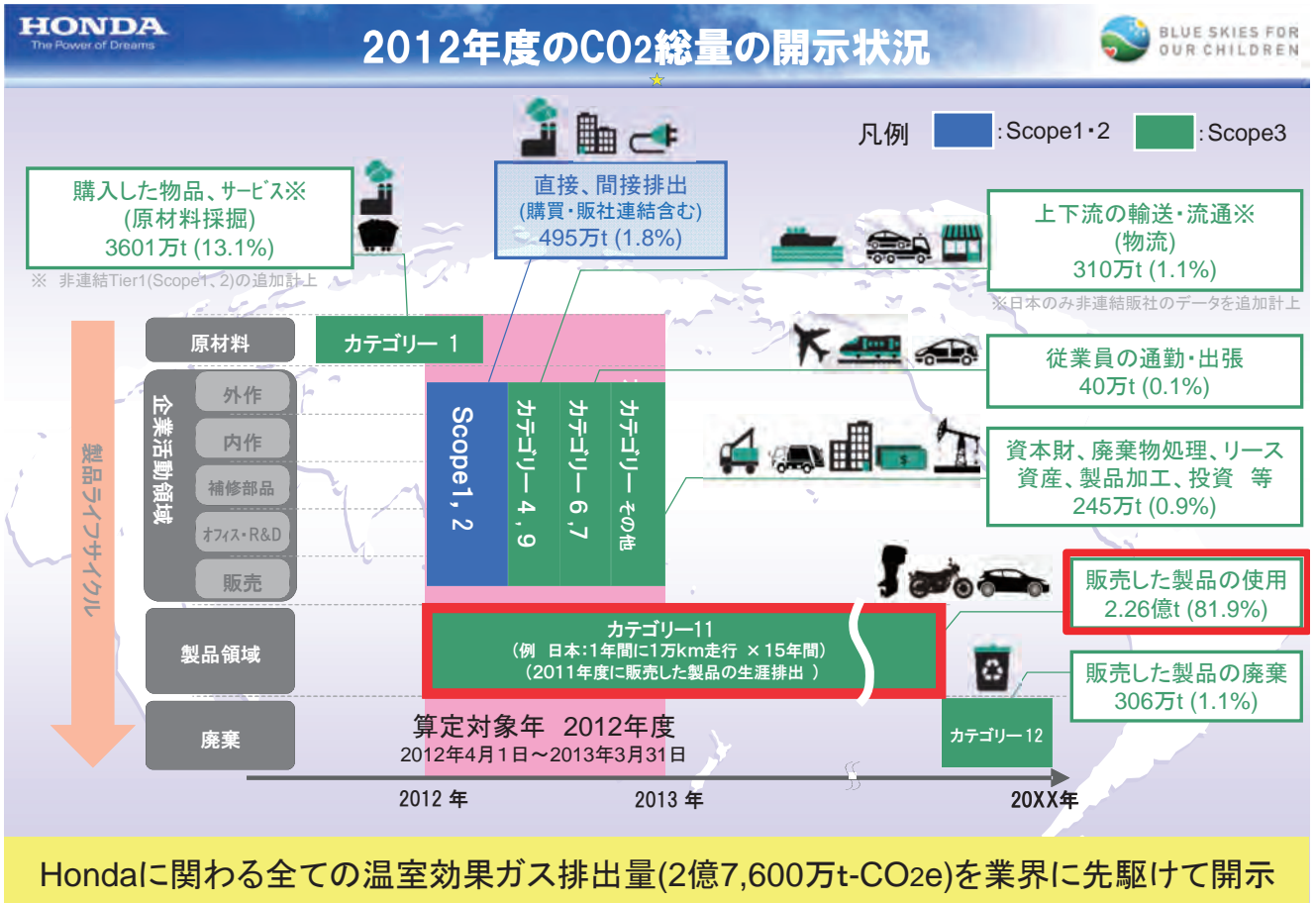
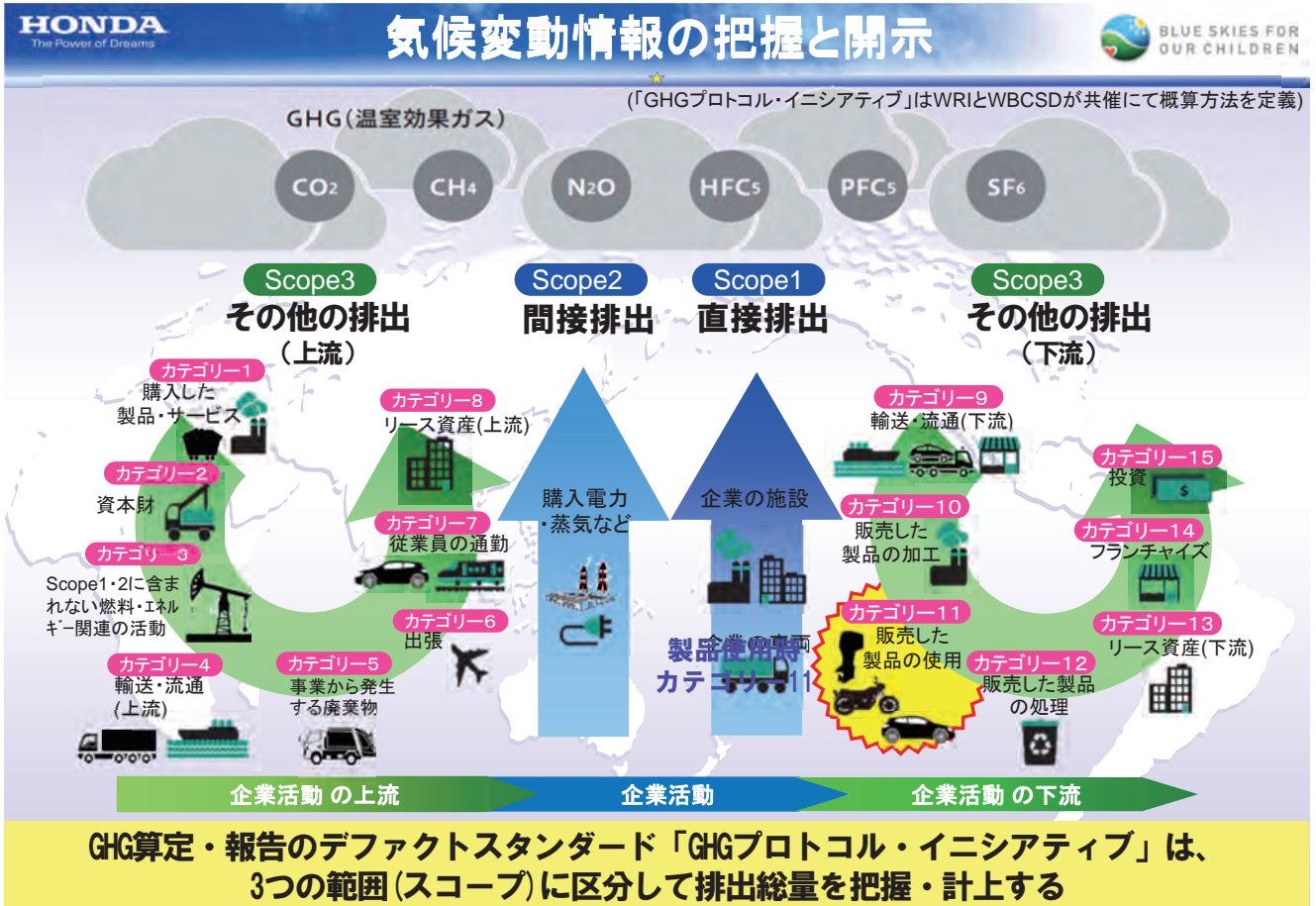


3. 「自由な移動の喜び」と「豊かで持続可能な社会」の実現をめざして



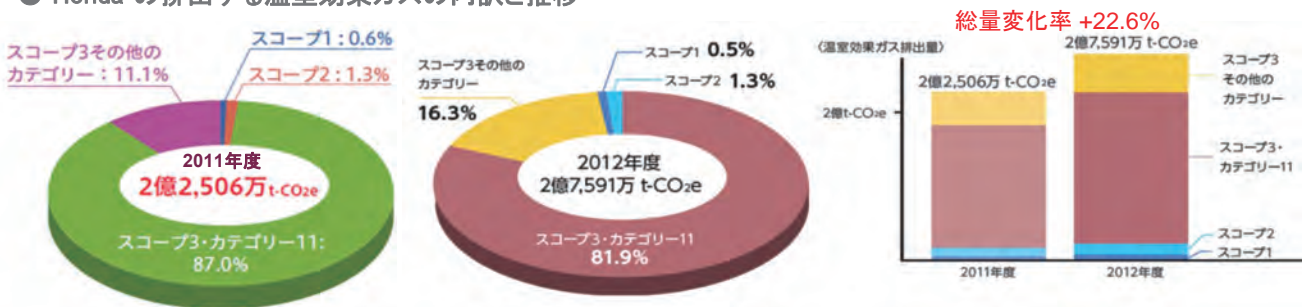
3. 「自由な移動の喜び」と「豊かで持続可能な社会」の実現をめざして

● Honda のバリュー・チェーン全体における温室効果ガス排出量

		2011年度	2012年度
スコープ1	企業活動による直接排出	124万t-CO ₂ e	141万t-CO ₂ e
スコープ2	エネルギー利用による間接排出	296万t-CO ₂ e	354万t-CO ₂ e
スコープ3	その他の間接排出	2億2,086万t-CO ₂ e	2億7,096万t-CO ₂ e
バリュー・チェーン全体の排出 (スコープ1、2、3合計)		2億2,506万t-CO ₂ e	2億7,591万t-CO ₂ e
このうち Hondaの企業活動による排出 (スコープ1、2合計)		420万t-CO ₂ e	495万t-CO ₂ e
製品使用時の排出 (スコープ3・カテゴリー11)		1億9,588万t-CO ₂ e	2億2,595万t-CO ₂ e
スコープ3・カテゴリー11 以外の排出		2498万t-CO ₂ e	4501万t-CO ₂ e

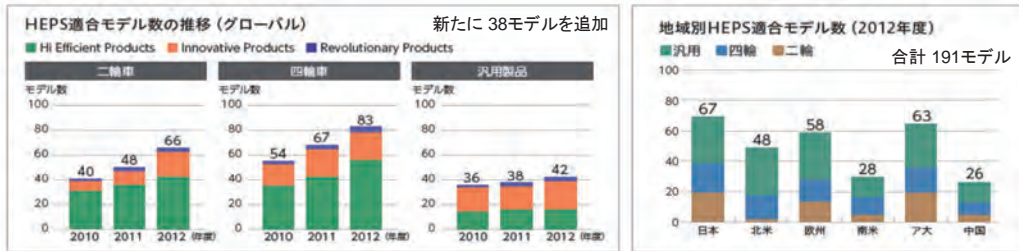
スコープ3の算定においては、推計割合の大きいカテゴリーについて、データ収集の推計精度向上のため、対象範囲を拡大したり、算出方法の精度を向上させました。

● Honda の排出する温室効果ガスの内訳と推移



Honda 環境性能基準 (HEPS: Honda Environmental Performance Standard)





2012年度 日本におけるHEPS適合モデル (例)

適合製品 (例)	HEPS Hi Efficient Products	HEPS Innovative Products	HEPS Revolutionary Products
2010年以前に開発されているものも含む	N-ONE, N BOX, ステップワゴン, スーパーカブC50	CR-Z, INTEGRA, LPガス発電機「EU9IGP」	フィットEV, 電動芝刈機「グラスバHRE330」

2012年度に発売された製品の認定を行った結果、二輪車5モデル、四輪車2モデル、汎用製品1モデル、合計8モデルを新たにHEPS適合製品として認定しました。

その結果、累計では二輪車20モデル、四輪車19モデル、汎用製品28モデル、合計67モデルがHEPS適合製品となりました。

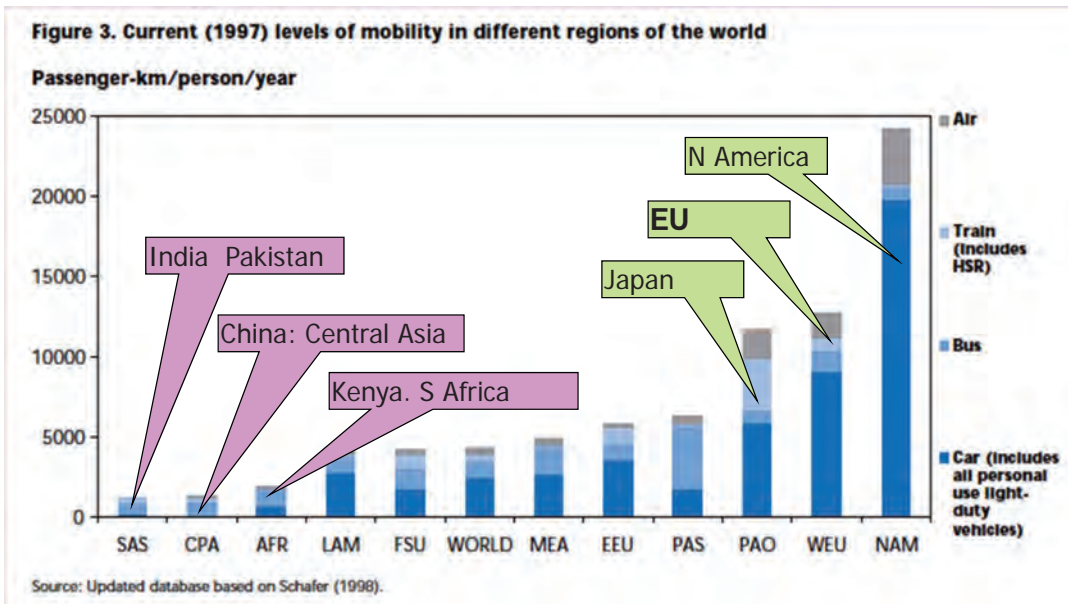


自動車産業を取り巻く課題

モビリティ普及の現状

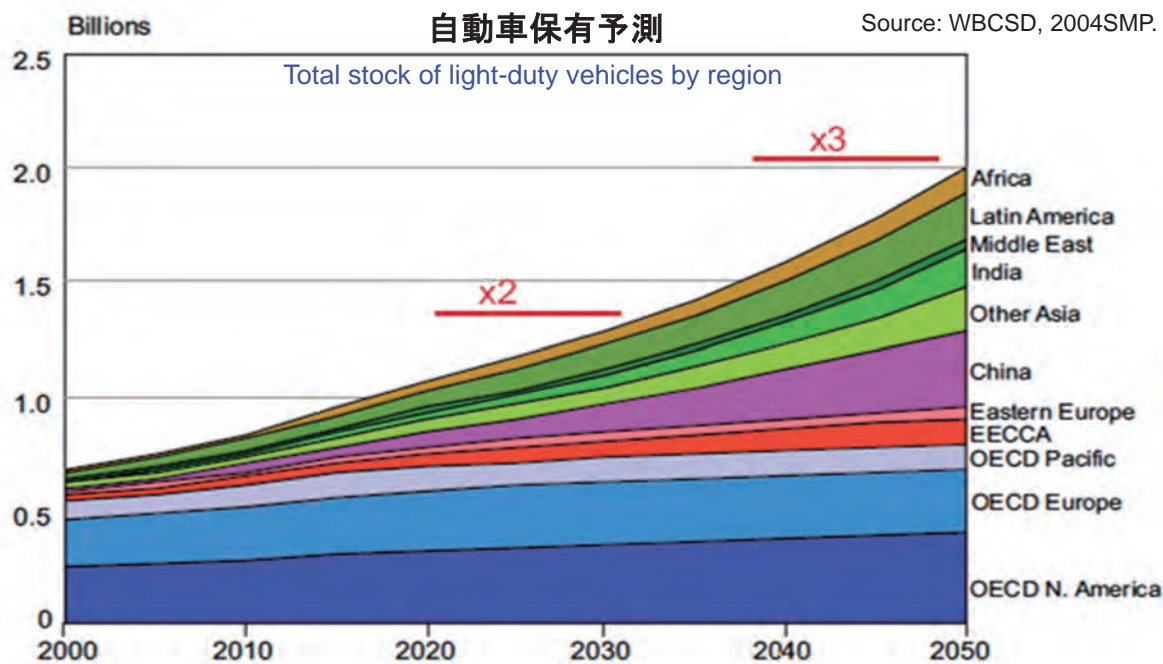
地域により、モビリティ使用量に大きな格差がある

(北米はインド、パキスタンの24倍)



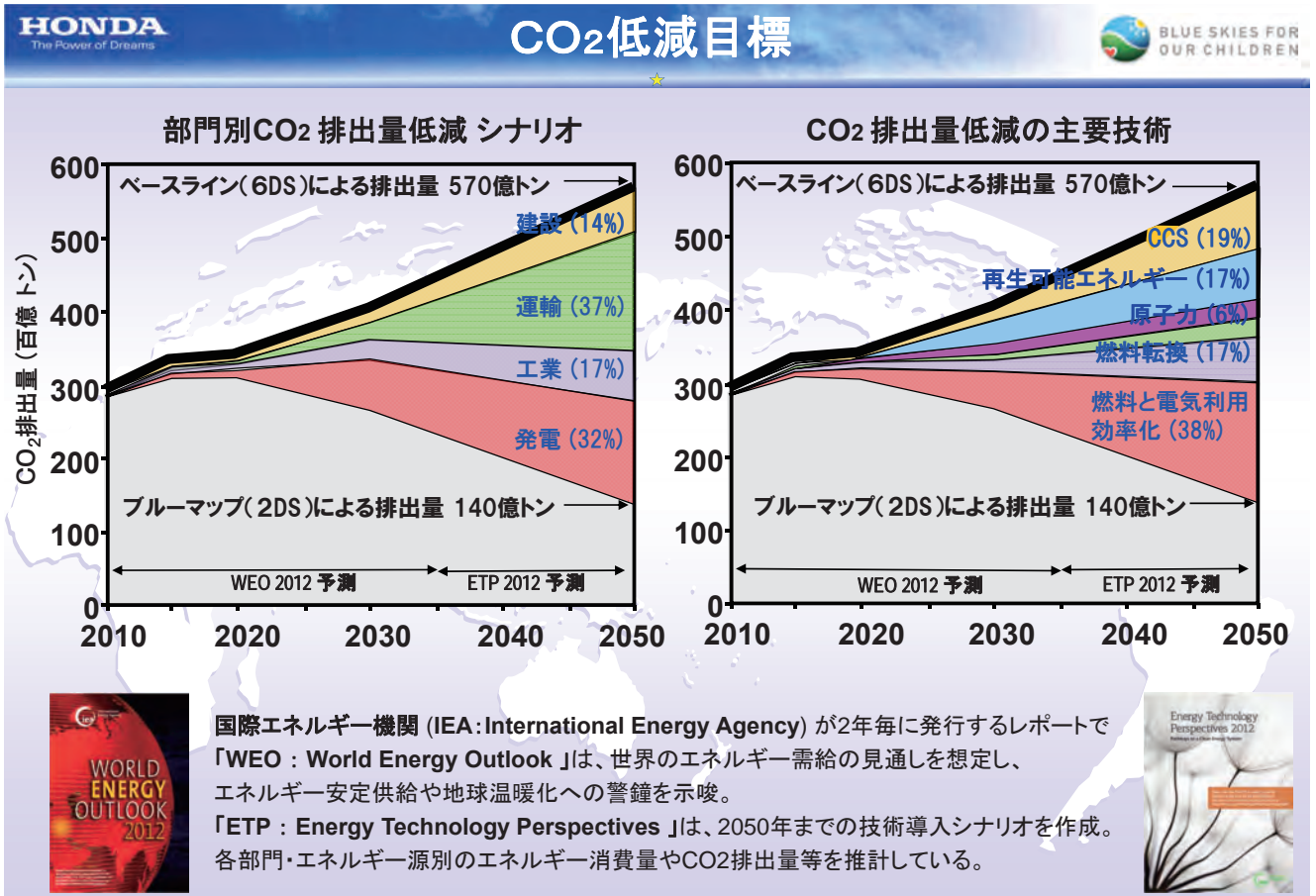
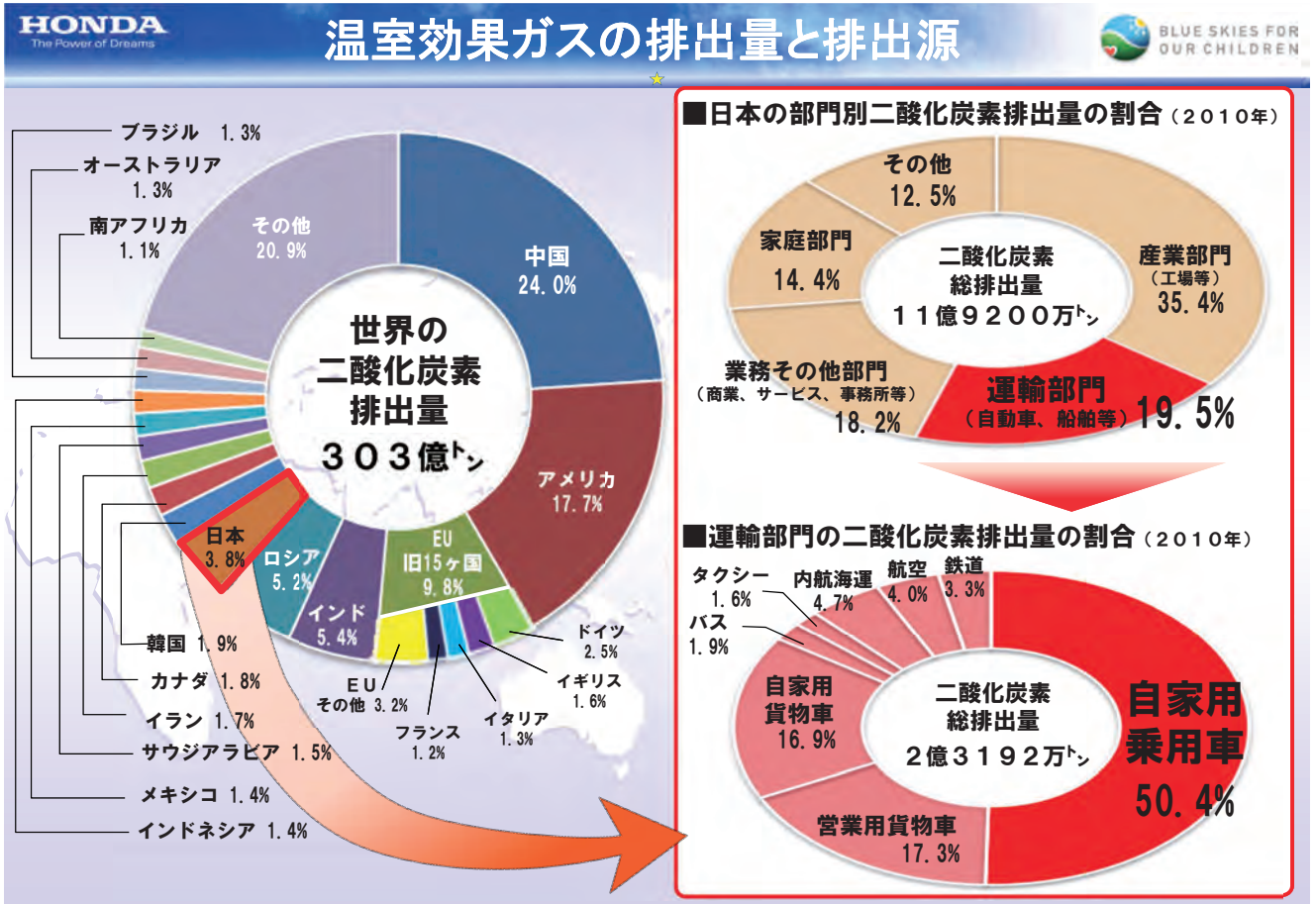
モビリティの恩恵を十分に享受していない人が多い

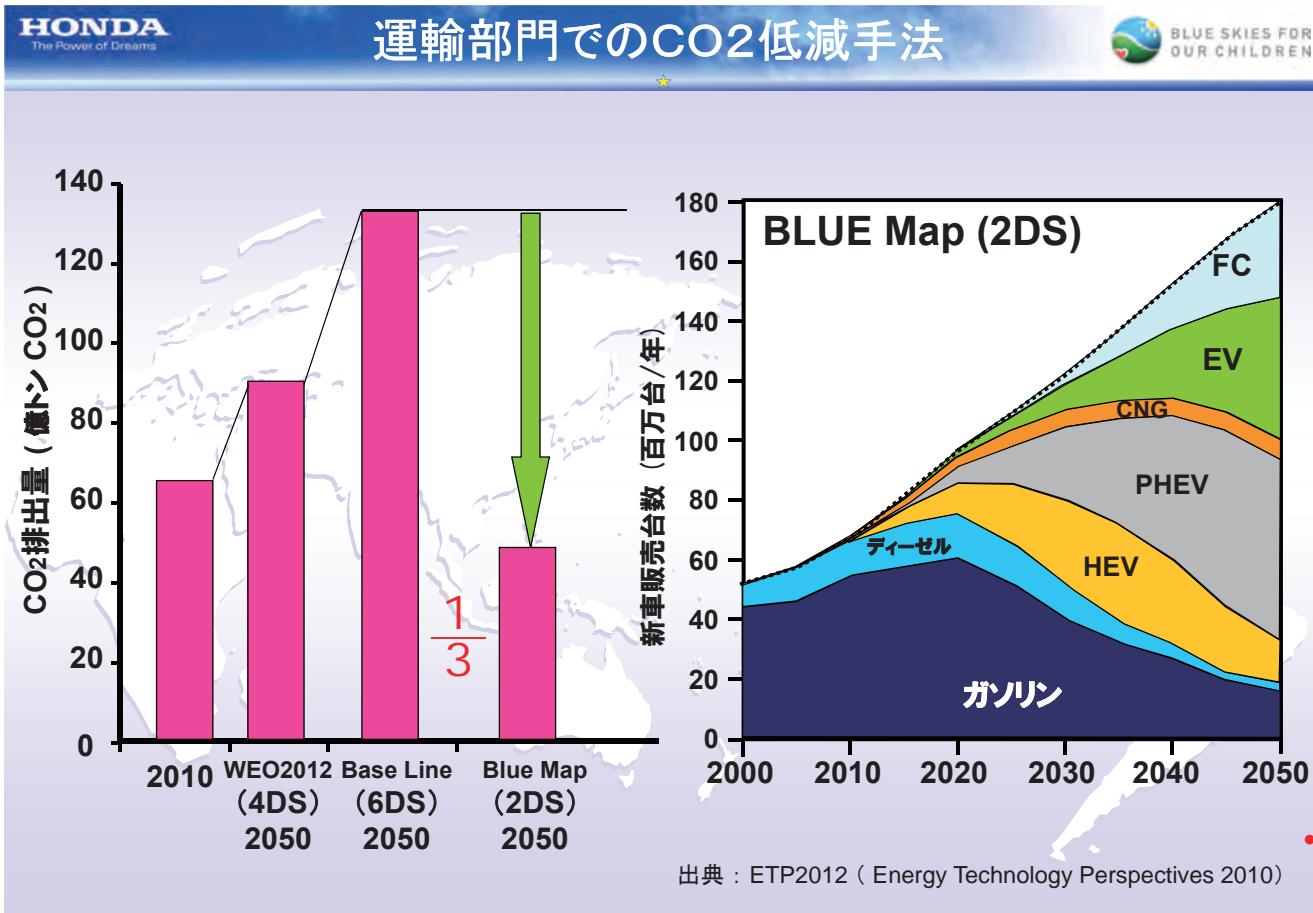
経済の発展と車の増加



2030年までに13億台、2050年までに20億台に達する

途上国を中心とした経済発展が自動車の総数を増加させる





HondaのCO₂低減技術搭載車

Honda環境技術で全包围網羅

電気自動車 (EV)

燃料電池電気自動車 (FC)

プラグインハイブリッド自動車 (PHEV)

天然ガス自動車 (CNG)

ガソリンエンジン自動車

ディーゼルエンジン自動車

ハイブリッド自動車 (HEV)

フィット EV

FCX クラリティ

Accord Plug-in (米国仕様)

Civic Natural Gas (米国仕様)

N-ONE

CR-V (欧州仕様)

CR-Z

